

14日、宮古で腰痛講座

フェリー就航記念

「宮蘭フェリー」の就航を記念し、腰痛症をテーマにした「宮古市市民公開講座」が14日、同市市民総合体育館で開かれる。患者の負担が少ない手術・最小侵襲脊椎安定化術(MIST)

に携わる東北と北海道の医師らが協力して開催する。「宮蘭フェリー」就航を契機とした一層の連携促進の取り組み」として、多くの来場を呼び掛けている。

米国で開発されたMISTは、背骨の変形などを治すため、小さな傷口から患部となる背骨にアプローチする術式の総称。患者負担の軽減にもつながる術式だが、高度な技術と経験も必要という。このため、2009年(平成21年)には日本MIST研究会が発足。さらに、全国7地域にも地域MIST研究会が設けられ、術式の普及などに力を注いでいる。

今回の市民公開講座は、一フ

エリー就航で「隣マチ」となった縁を生かして、MISTの一層の啓発を」と、東北MIST研究会(代表世話人・富田卓青 森県立中央病院整形外科部長)から、北海道MIST研究会(代表世話人・小谷製鉄記念室蘭病院副院長・脊椎脊髄センター長)への呼び掛けで実現した。

テーマは多くの人が悩む「腰痛症」と設定。脊椎・脊髄疾患を専門とする医師ら西研究会のメンバーが、腰痛症の仕組みや薬物治療、椎間板ヘルニアの低侵襲手術などを紹介するほか、MISTによる治療法などを紹介。腰痛の悩みや疑問点などについての質問コーナーもある。

北海道MIST研究会の小谷代表世話人は、「室蘭からフェリーで宮古に訪れた方々にもぜひ、会場に来ていただければ」と話している。

宮蘭フェリー就航記念・宮古市市民公開講座「腰痛症に対する最新の治療」(東北MIST研究会、北海道MIST研究会、大正富山医薬品共催。室蘭民報社など後援)は14日午後3時からの開催。入場無料。

(松岡秀宜)



宮蘭フェリー就航記念「宮古市市民公開講座」をPRする北海道MIST研究会の小谷代表世話人